一般社団法人
日本自走式駐車場工業会
飯島登美夫 理事長

自走式駐車場議員連盟
会長
佐田玄一郎 衆議院議員

自走式駐車場議員連盟
顧問
額賀福志郎 衆議院議員

一般社団法人
日本自走式駐車場工業会
野呂田芳成 特別顧問

Report

平成28年 新年賀詞交歓会レポート

1月14日、ホテル ルポール麹町で新年賀詞交歓会が開催されました。
主催者挨拶、そして来賓挨拶を抜粋してお届けします。

国土交通省
杉藤 崇 大臣官房審議官
（住宅局担当）

自走式駐車場議員連盟
事務局長
渡辺博道 衆議院議員

一般社団法人
日本自走式駐車場工業会
中川 賢 副理事長

利用者目線の技術開発で質の高い自走式駐車場を目指す

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会
飯島登美夫 理事長

皆様あけましておめでとうございます。

昨年は皆様には何かとご支援ご協力を賜りました。改めて厚く御礼を申し上げます。

本日はご多用中のところ、衆議院議員の佐田玄一郎先生を始め、自走式駐車場議員連盟の先生方、そして野呂田芳成先生、国土交通省の幹部の皆様、そして関連諸団体のご要職にある方にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。

さて、経済の状況を見ますと、今のところ我々の業界は順調に推移しているかな、という印象をもっています。今年度の3月決算については一部上場企業、そして大手ゼネコンはおおよそ順調な決算が見込まれているようです。さらに観光・サービス業に目を向けてみますと、東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり政府目標として年間2,000万人の訪日外国人客をお迎えしようとのことです。昨年は1,900万人を突破したそうで、この業界は非常に上向き基調といえそうです。

その一方、昨年秋ごろから中国経済の雲行きが怪しくなってきた感があり、また、各地で起こっているテロの問題、今年に入ってからのサウジアラビアとイラクの国交断絶など、不安材料も増えてきたかと思います。

我々を取り巻く具体的な状況ですが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する一連の事業が収束するであろう今から2年後の2018年には、建設事業は半減するのではないか、という指摘もあるようです。そうした環境変化や技術環境の変化に対し、我々がどのように対応していくかが当面の課題ではないかと思います。

当工業会では一昨年、名称から「プレハブ」を外し、「日本自走式駐車場工業会」として生まれ変わりました。これは、今までの大臣認定駐車場だけでなく、広く在来型の駐車場に関しても視野に入れて活動していこう、という意思を込めたものだと私は思っております。自走式駐車場の社会的意義、社会への貢献をアピールし、事業の一層の拡大に努めてまいりたいと思います。ぜひ皆様のご協力をお願い致します。

また、もう一度原点にもどり、認定駐車場のメリットを自ら問い直したいと思います。便利で扱いやすく、リーズナブルな短工期の駐車場、安全・安心の駐車場をこれからも追求していきたいと考えております。

さて、最近の我々の活動と成果についてお話をさせていただきます。まず防災備蓄倉庫についてですが、自走式駐車場に設置するための認定が昨年5月より可能になりました。今まで都市緑化機構にご協力いただき、防災緑化型の駐車場を提供してまいりましたが、さらに防災備蓄倉庫も加えることができるようになり、皆様からのご期待に応えるかたちになってきたのではないかと思います。そしてもうひとつ、今年6月になろうかと思いますが、エレベーターを型式認定部分から除外するということで新たなスタートを切ることができる見通しが立ってきました。このことにつきましては、本日お出でいただいてい

る国土交通省住宅局・建築指導課の皆様、自走式駐車場議員連盟の先生方にご尽力いただきました。そして会員一人一人が常に問題意識を持って、お客様の目線に立って技術開発を進めてきたことが、ひとつの成果につながったのだと思います。

これからも時代の変化に対応し、ニーズを捉え、利用者目線に立った質の高い自走式駐車場の提供を目指したいと思います。状況によっては今後の地方創生に対し、我々としても寄与できるよう関連諸団体と連携を密にして、市場の開拓に努めていきたいと思いますので、ぜひとも皆様のご理解ご支援を賜りたく、お願い致します。

最後になりましたが、皆様の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げまして、2016年新春の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

若い技能者が希望をもって仕事に取り組むことができる制度を

自走式駐車場議員連盟 会長
佐田玄一郎 衆議院議員

皆様あけましておめでとうございます。

本日は日本自走式駐車場工業会賀詞交歓会が盛大に行われ、心からお慶び申し上げる次第です。

飯島理事長からお話がありましたように、建設関係の業界の景気は多少上向いています。これを受け、自走式駐車場業界の景気も、これから未来に向けてしっかりしたものとなるよう、我々議連も、そして国土交通省もしっかりと皆様方のご要望をお聞きし、ユーザーの方々のいろいろな要望を汲み取りながら、安全で、そして災害に強い駐車場を目指していかなければならないと思っております。皆様にはいろいろな要望を持ってきていただいて、皆様とともに検討しながら、しっかりしたものにしていきたいと思います。

先ほど来お話にあるとおり、建設業界、ゼネコンを含め状況はかなり良くなっているということではありますが、これを裾野まで行き届くようにしなければならないと思っています。私は「建設技能者を支援する議員連盟」会長として、153人の国会議員とともに、不足してる技能者の育成に努めているところです。若い人たちが本当に少なくなっています。自走式駐車場を造るときにお困りになっている方もいらっしゃるでしょう。そういう若い人たちが社会保障や給料の面などで抱えている問題に対し、未来を見据えて、希望をもって仕事に取り組むことができるような、そういった制度をつくっていきたいと思っております。これも国土交通省住宅局の方たちにもしっかりお願いしているところであります。

未来に向け景気をよくし、総合的に日本が繁栄するために、建設業界、そして自走式駐車場業界の皆様が元気になっていくことがいちばん大事なことですから、今年一年、自走式駐車場議員連盟としても力を合わせてしっかり努力することをお誓い申し上げて、心からの感謝とお祝いの挨拶に代えさせていただきます。

日本経済の正念場の年 的確な政策を打たなければならない

自走式駐車場議員連盟 顧問
額賀福志郎 衆議院議員

あけましておめでとうございます。

日頃から皆様には大変お世話になっております。心から御礼申し上げます。皆様方におかれましては、経営基盤が安定し、順調に推移していると聞いております。

日本経済は、アベノミクスで空気は変わったけれど、なかなか実体経済までは行き届いていないというのが多くの方の認識でしょう。そういう中、原油安で、世界同時株安に覆われている。中国経済も下降線を辿っていて厳しいものがある。アメリカ経済も金融緩和から転換した。そのようないろいろなことを考えると、日本経済も今年は正念場と思っております。一日も早い補正予算の成立、本予算の成立が不可欠です。その上で、世界の雲行きを睨みながら的確に政策を打っていかなければならないと思っております。

今年一年が日本自走式駐車場工業会の皆様にとって良い年であるようお祈りしまして、祝辞とさせていただきます。

物事が順調に進み 盛んに伸展する一年に

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会
野呂田芳成 特別顧問
株式会社 住宅・都市等総合研究所 代表取締役

今年もお招きいただき、ありがとうございます。今年も引き続きよろしくお願い致します。

飯島理事長からお話がありましたが、工業会の皆様の懸案事項については、皆様の大変なご努力と自走式駐車場議連の先生方のご支援、そして国土交通省の皆様の温かいご指導により、おおかた解決を見ることができたことを大変嬉しく思っております。

今年は「丙申」です。安岡正篤先生の解説によりますと「丙」というのは明るいさま、明々と火が燃え盛る様子を表すとのことです。「申」に人偏「イ」を付けると「伸」となります。物事が順調に伸長していくという意味で、総合すると丙申の年は物事が順調に、そして盛んに伸展していく年である、というようにいわれています。皆様にとって、そのような年になれば嬉しく思います。

今年は参議院選挙があり、そしてあるいは衆議院選挙も浮上していますが、議連の先生方には引き続き、工業会のために力をお貸しいただくことをお願い致します。本日はありがとうございました。

明るさの見えてきた業界が増えている

国土交通省
杉藤 崇 大臣官房審議官
（住宅局担当）

皆様あけましておめでとうございます。

年頭にあたりまして、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

昨年は消費増税の反動などもありまして、住宅業界中心に非常に厳しい情勢でしたが、年が明けて少しマインドにも変化があるのかな、と思います。いくつかこのような会にお招きいただいている中で、東京オリンピック・パラリンピックが近づいてきたこともあり、少し明るさが見える業界が増えていると感じています。とりわけ駐車場業界は好調に推移している社が多いということで、誠に喜ばしく思っています。これも自走式駐車場が昨今の防災対策、津波対策、あるいは全国の都市再生といった新しいニーズを踏まえ、適した商品を展開されるといったご努力の積み重ねの賜物と考えています。

先ほど飯島理事長のお話にありましたエレベーターを除外した型式認定等につきましては、実務レベルでは十分にお話を伺っておりますので、円滑に進めてまいる所存です。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

結びに、本日ご参集の皆様の益々のご健勝と、日本自走式駐車場工業会の益々のご発展を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

防災性能を持つ自走式駐車場の推進が地方創生につながっていく

自走式駐車場議員連盟 事務局長
渡辺博道 衆議院議員

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年は皆様方にとりまして景気がさらによくなるよう、我々議連として、しっかりサポートしていきたいと思います。今年は「丙申」ということで、しっかりと結果を出していかなければならない、そんな思いでおります。今政府はGDPを600兆円にするという大きな目標を立てています。この目標に向かって我々も一歩一歩確実に進んでまいりたいと思います。

中締めの挨拶をする
日本自走式駐車場工
業会 中川 賢 副会長

今年の3月11日で5年を数える東日本大震災、これを風化させてはなりません。そのためにも、このたび防災備蓄倉庫の設置が認められたこともあり、ぜひとも地域の安全、安心のためのお役に立つことを推し進めていただきたいと思います。ひいてはそれが地方創生につながっていくと確信しております。

今年一年が素晴らしい年となり、工業会の皆様が益々発展することを祈念致します。　（乾杯挨拶）